

[ポリエ]…石灰岩地域で溶食作用によってできた広い凹地、平野のことである。
秋吉台エコ・ミュージアムは佐山ポリエと呼ばれる谷あいにあります。

秋吉台 今シーズン最強の寒波到来！！

今年は暖冬だといわれていますが、冬なので寒いことは寒いに違いありません。1月下旬、今シーズン最強の寒波がやって来ました。まさに暦でいうところの大寒です。秋吉台も8cmほどの積雪が観測され、石灰岩は綿帽子をかぶったようになりましたが、草原は真っ白な雪景色にはなりません。それには枯れススキを押し倒すくらいの大雪か、毎年2月に実施される山焼き後の積雪、いわゆる「焼山隠し」を待たなければなりません。



花も実もある秋吉台

ヒヨドリジョウゴ つる性の多年草です。花が終わった後、たくさんの果実が付き、秋には赤く熟します。これをヒヨドリが好んで食べたことによる名前(鶉上戸)です。果実を口にすると酸味があり、ヒリヒリするそうですが、ヒヨドリたちはどうなのでしょう。

ハゼノキ 山野に生える落葉高木です。高さは10メートルほどになることもあります。秋には葉が赤く染まり、きれいな紅葉となります。樹液に触れるとかぶれることがあるので要注意です。古来、果実から口を採りました。

フユイチゴ 林の中や草原にも生えるつる性の落葉低木です。晩秋から冬にかけて赤い果実が付きます。小さくてきれいな果実は輝くようにも見えます。もちろん、イチゴですから食べることができます。



観察会「サンショウウオの観察」（1月14日）

サンショウウオの観察会を行いました。講師の田原先生からサンショウウオについて概要説明を受けた後、さっそく現地へ向かいました。そこは小さな沼でしたが、水がほとんどありません。近くの倒木や岩をはぐって探したところ、ヤマグチサンショウウオを発見。卵も少しだけ見つかりました。続いて沢伝いに行き、小さな滝を登った場所でチュウゴクブチサンショウウオを見つけて観察することができました。



観察会「森の昆虫教室・冬」（1月20日 クワガタムシ） （1月28日 カブトムシ）

「森の昆虫教室・冬」を1回目クワガタムシ編、2回目カブトムシ編に分けて行いました。両日ともあいにくの荒天の中、講師の角田先生から興味深い昆虫のお話を聞きながらエコ・フィールドをまわり、昆虫たちの卵や幼虫、成虫のままといろいろな形態での冬越しのようすを観察しました。野外での観察の後、クワガタムシ、カブトムシそれぞれの幼虫がプレゼントされ、その飼育法を学びました。



花の写真CD作成 「花も実もある秋吉台(2023)」

2023年に秋吉台エコ・ミュージアムのホームページ掲載用に撮影した草花や果実など約500種類、800余枚の写真をもとめたCDを作成しました。これは秋吉台の花の観察記録として作成したもので、今回で7回目となります。今回はリュウキュウコザクラやアフリカヒメアヤメなど初めて出会ったものも加えています。（50枚作成 ご希望の方に無料配布）



2月の行事

2月10日(土) 観察会「カエルの観察」
ヤマアカガエルなどの観察と卵のレスキューを行います。